
□ブラウザ

■Internet Explorer 6

- ・UTF-8 で記述されているページを表示している際に、ブラウザの文字サイズが表示していたサイズから切り替わる場合があります。【Internet Explorer6.0】

■Internet Explorer 7

- ・添付ファイルを自動で開く設定になっているが、自動で開かない場合があります。または、自動で開くが、ファイルをダウンロードできない場合があります。
→回避策は以下の通りとなります。

[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定を有効にします。

これを行うには、次の手順を実行します。

1. ブラウザのツールバーから[ツール]→[インターネットオプション]を選択します。
2. [セキュリティ]タブを選択後、[レベルのカスタマイズ]を選択します。
3. [ダウンロード]グループにある [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定を[有効にする]に選択します。
4. [OK]を選択し、画面を閉じます。

- ・Windows XP を実行しているコンピュータで、Windows Internet Explorer 7 を使用してファイルをダウンロードできないことがあります。

→回避策は以下の通りとなります。

この問題を回避するには、詳細なテキスト サービス機能を無効にします。これを行うには、次の手順を実行します。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。control international と入力し、[OK] をクリックします。
2. [言語] タブをクリックし、[詳細] をクリックします。
3. [詳細設定] タブをクリックし、[詳細なテキスト サービスをオフにする] チェックボックスをオンにして、[OK] を 2 回クリックします。

※右記のサイトからの抜粋。<http://support.microsoft.com/kb/932823/ja>

■Internet Explorer

- ・ActiveX を使用する設定にしている場合、ActiveX を使用している部分は印刷時に正常に印刷されません。

- ・ブラウザのステータスに表示されるプログレスバーが伸びたままになることがあります。

■Firefox 1.5.x

- ・詳細検索編集画面・コレクション編集画面・シンプルタスク編集画面でフォルダー名が長い場合、検索対象が文字化けする場合があります。

- ・ログイン直後のステータスバーが「～からデータ転送中..」のままになる場合があります。

■Netscape7.1

- ・FlashPlayer Version 9,0,28,0 は Netscape7.1 では正常に動作しません。
Version 9,0,16,0 にて動作確認を行っております。

- ・ブラウザを最大化にしている状態で画面の操作を行うと、最大化が解除されることがあります。

- ・添付ファイルをダウンロードまたは参照をした場合に、添付ファイル名にヘッダー情報が表示されます。保存時にファイル名を修正してください。

- ・システム側から CSV ファイルなどを出力する場合、ファイル名の最後に「.do」が付加される場合があります。保存時にファイル名を修正するか、ブラウザメニューの「編集」 - 「設定」 - 「Navigator-サポートアプリケーションのファイルタイプ」の application/x-download の拡張子「.do」を削除してください。
- ・ウィンドウのスクロールにマウスホイールを使用できません。
- ・リサイズ時に罫線がずれる場合があります。
- ・ログイン直後のステータスバーが「～からデータ転送中..」のままになる場合があります。

□簡易承認機能

- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認文書を登録する場合、セキュリティ設定の「上位の設定を使用する」の設定を外すことができません。
- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認フォルダーのキーワード設定を変更した場合、承認文書のキーワードもフォルダーの設定に従って変更されます。

□フォーム文書

- ・パーツの名前に日本語を入力した場合、フォーム文書の登録、更新時に JavaScript エラーが発生する場合があります。

□全文検索

- ・簡易検索、詳細検索画面で検索条件に全文検索を含む場合、検索結果をソートすることはできません。

□機密文書管理機能

- ・キー登録を行う際に利用できる認証コードは 50 文字までとなります。50 文字以降は切り捨てます。

□サーバーツール

- ・ごみ箱文書削除ツールで削除対象のフォルダー、文書数が多いとデータベース処理でタイムアウトが発生する場合があります。タイムアウトが発生した場合は、データベースのタイムアウト時間を長く設定するか、-r、または、-dr オプションで、削除対象が少なくなるよう(※)指定してください。
※-r オプションの場合は、経過日数を大きく、
-dr オプションの場合は、より過去の日付を指定します。
- ・システム環境設定の「更新前文書を表示」が「する」の設定で、サーバツール実行で文書を更新した結果、バックアップ階層を越えてしまった場合、指定した更新者ではなく、ツール実行者の「更新前文書」一覧に表示されます。

□1.00R07 バージョンアップ

- 1.00R06 以前に削除されていた添付ファイルが、バージョンアップ後、WebDAV を利用する環境の場合、ごみ箱に WebDAV 文書として表示されてしまう可能性があります。
※このデータはごみ箱削除ツールで削除されます。
- 添付ファイルを削除し、その文書を移動していた場合、バージョンアップ後、以下の不具合の影響で、その文書の添付ファイルとして復活してしまいます。
「Binder クラスの move メソッドを実行すると、束ねられていた削除状態の Document が復活してしまう不具合を修正しました。」

□ファイルのダウンロード

- 添付 ActiveX を使用していない場合、保存ファイル名の初期値が文書 ID. 拡張子の形式になります。
-